

ラクラン

施工要領書

お願い! 施工について

寒くなったら (5℃以下) ご注意!

ラクランは**水系の舗装材**です。
(水分の蒸発とともに乾燥・硬化します)
だから…「**寒さは苦手**」です。

施工後のトラブルを避けるために…

- ①施工後、乾燥硬化まで、気温5℃以下になる場合の施工は避けてください。→地面はもっと低温になっています。
- ②塗り厚は約1mmです。厚塗りすると割れや硬化不良を起こします。
- ③10℃以下では乾燥硬化までに2～3日かかります。
- ④トップコートは完全乾燥後に塗布してください。
- ⑤乾燥硬化するまでは、絶対に水に濡らさないでください。(必ず雨養生してください)
- ⑥冬期において車を乗り入れる場合は、3日以上養生してください。

セット内容(6㎡セット)

包装形態		重量(g)
上塗材		6,500g
樹脂セット	コンクリートプライマー	900g
	上塗材用ボンド	3,000g
	上塗材用接着強化剤	24g
	トップコート	600g
SKセレクトカラー(別梱包)		150g
施工要領書		1部

注)目地有り仕上げの場合は、着色下地材
[(グレー・ライトグレー) 400g/3㎡・ポリ缶]を
別途購入してください。

適応下地

■**コンクリート・セメントモルタル(金鍍仕上げ)** ※木鍍仕上げなど下地が粗い場合は施工できません。

施工準備

準備する物

プライマー用

- ウールローラー
- ローラーバット

着色下地材用

- ウールローラー
- ローラーバット
- 面相筆

上塗材用

- マスチック(砂骨)ローラー
- 短毛ローラーまたは
スタイロフォーム、金鍍
- 上塗材混練り用容器
- リシンマザール

トップコート用

- ウールローラー
- ローラーバット

目地貼り用

- 墨つぼ、鉛筆
- ゴムローラー、鍍、ヘラ
- カッター、ラジオペンチ

養生テープ、カットマスキ、その他左官工具一式
ブロワー、ほうき等清掃用具
※溶剤系と水系用の器具は分けて使用してください。

■下地について



- 2%程度の排水勾配を設け、雨水の排水設計に留意してください。
- 下地はセメントモルタルまたは、コンクリートとし、金鏝で平らに仕上げたものとします。
- 下地は完全に乾燥させてください。湿っていると塗材のハガレ・フクレの原因となります。セメントモルタルの養生は7日以上としてください。(含水率10%以下)。



- 下地表面のホコリ、ゴミ、土、レタンス、油分、コケ、カビなどは完全に除去してください。
 - セメントの白華及び汚れは、前日までにデッキブラシ、ワイヤーブラシなどを用いて水洗いするか、ポリッシャー(床洗浄・研磨機)で研磨清掃して完全に除去して乾燥させておいてください。
- ※清掃が不十分な場合は、ハガレを生じることがあります。



- 下地の不陸(凹凸)、欠損部の不良下地は、あらかじめセメントモルタルなどで平滑に補修してください。
- 1mm未満のヘアクラックの場合は「SKカチオンクリート」(別売)で全面補修してください。
- 1mm以上のクラックは市販のエポキシ樹脂を注入してから、「SKカチオンクリート」(別売)で全面補修してください。

施工手順

施工後気温5℃以下になる場合と夏期炎天下での施工は避けてください。気温の高低または、直射日光の影響、風の強弱により乾燥時間が大きく変わりますので注意してください。

1 プライマーの塗布(乾燥時間:夏期1時間以上、冬期2時間以上)



プライマー原液をローラー、または刷毛を用いて、セメントモルタル下地にしみ込むように規定量を塗布します。

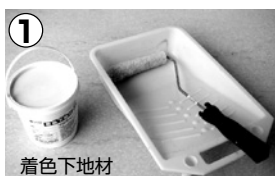
※塗布量は、約150g/㎡です。1缶(900g)で6㎡を目安に塗布してください。

※プライマーは溶剤系のため、溶剤特有の臭いがします。

目地有り仕上げの場合は②へ

目地無し仕上げの場合は④へ

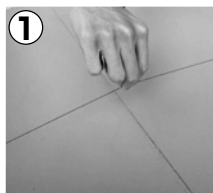
2 着色下地材の塗布(乾燥時間:夏期1時間以上、冬期4時間以上)



着色下地材原液をウールローラー、または刷毛を用いて塗布します。塗布量は120g/㎡です。1缶(400g)で3㎡を目安に塗布してください。

3 目地材を貼る 着色下地材が乾燥後に行ってください。

【SK抜き目地 舗装用08タイプの場合】



【墨出し】
着色下地材の乾燥後に墨出しを行います。曲線の場合は鉛筆などでデザインの下書きを引きます。



【SK抜き目地の貼り付け】
墨出し、下書きしたラインの横に目地材を貼り付けます。その後、鏝などで十分に圧着し、下地からはがれないようにしてください。

※目地材が交差したところは、重なった部分を切除してください。

【パターン目地の場合】

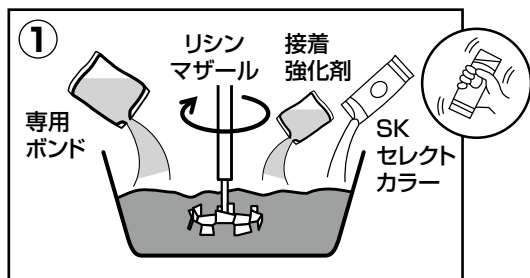


【墨出し】
「パターン目地」を正確に貼るために、墨出しを行います。墨出しは、基準線を出し、場合によっては補助線も入れてください。



【パターン目地の貼り付け】
歪みが生じないように、基準線及び補助線に沿って丁寧に貼り付けます。貼り付け後は、ヘラ、鏝、ゴムローラーなどで圧着します。突合せ部で隙間を生じた場合は、紙テープなどを貼り付け、隙間に上塗材が流れ込まないようにしてください。フクレが生じている箇所はその部分をカッターで切り、フクレをなくしてください。

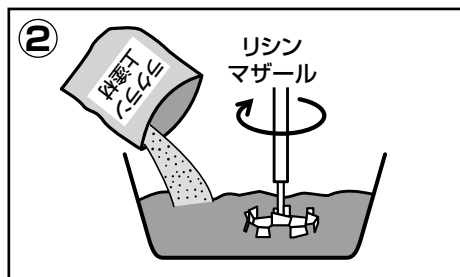
4 上塗材の塗布 〈練り方〉



- ①「上塗材用ボンド」、「上塗材用接着強化剤」及び「SKセレクトカラー」（別梱包）を加え、リシンマザールでよくかき混ぜます。

※必ず所定色番号の「SKセレクトカラー」を使用してください。使用しない場合、着色できません。

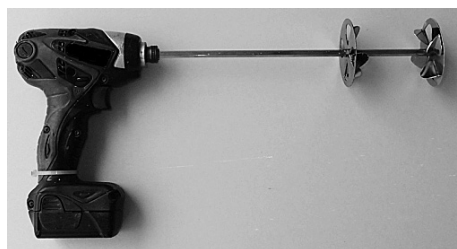
※「SKセレクトカラー」は袋をよく揉んでから必ず全量使用してください。



- ②次に「上塗材」を加えて軽く練り上げ、20分ほど練り置きします。その後、水を200ccを目安に加え、しっかり練り上げます。

※同一面での塗り継ぎは色ムラや段差の原因となりますので、必要な塗り材は一度に混練りします。

※練り上げた材料は、早めに使い切ってください。



- 攪拌機はリシンマザールの代わりにインパクトドライバーにペイントミキサー用の羽根※)を付けたもので混ぜることも可能です。

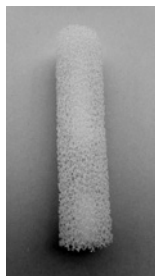
※)E-Value六角軸ペイントミキサー6.35ジク(藤原産業製)など

- インパクトドライバーで混ぜる場合は、1袋単位で混ぜてください。

- 容器の底など混ぜにくいことがありますので、シャクなどを用いて底の方から塗材をかき上げて、再度十分に攪拌してください。

〈塗り方〉

- 2回塗りを標準とします。1回目塗りを行い、乾燥後に2回目で仕上げます。
- 夏期など、炎天下では塗面が急激に乾燥します。目地を900mmを目安にとるなどして、塗継ぎが出ないようにしてください。
- 施工前に試し塗りを行い、仕上がりの確認を行ってください。



マスチックローラー

- ①「上塗材」の塗布（1回目・塗り厚0.4～0.5mm）

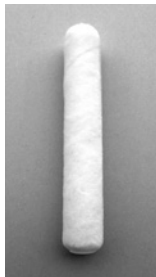
マスチックローラーで、できるだけ薄く均一に塗りつけます。1回目は少し透けますが2回目で仕上げるため問題ありません。

その後すぐに、水を含ませた短毛ローラー、スタイロフォーム、金鏝等で、塗面のとがっている部分を軽く押さえます。塗面は、夏期はすぐに乾燥してしまいます。冬期も10分程度で乾燥しはじめます。乾燥しきらないうちに押さえを行います。

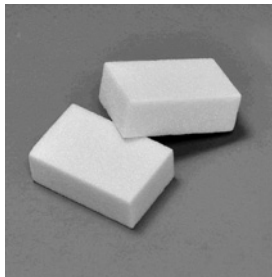
※1回目塗りが厚い場合、2回目の作業が塗りにくい場合があります。

※短毛ローラーの水はローラーバットでよく切ってください。押さえ時の水が多いと、乾燥時間が余分にかかり、小さな穴があくことがあります。

※乾燥時間の目安は夏期1時間以上、冬期3時間以上です。



短毛ローラー



スタイロフォーム

②「上塗材」の塗布と仕上げ（2回目・塗り厚0.5～0.7mm）

1回目が完全に乾いた後、マスチックローラーで下地が透けないように丁寧に塗り付けます。

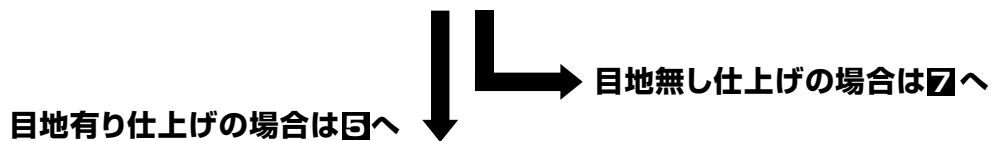
その後すぐに、水を含ませた短毛ローラー、スタイロフォーム、金鋺等で、塗面のとがっている部分を軽く押さえます。塗材が工具に付着した場合は、水洗いした後、水分をよく切ってから使用してください。

塗り継ぎを行う際は、先に塗った部分と10cm程度以上塗り重ねると自然な仕上がりになります。

上塗材の塗布後は、夏期3時間以上、冬期24時間以上置いてから次の工程へ移ってください。

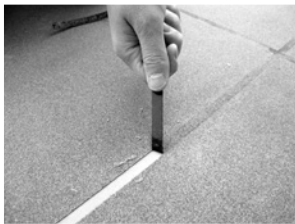
※乾燥しすぎると押さえ作業ができなくなります。夏期は特に注意して下さい。

※短毛ローラーの水はローラーバットでよく切ってください。押さえ時の水が、塗面に多く残ってしまった場合、色ムラになるおそれがあるので注意して下さい。



⑤ 目地材の除去（上塗材乾燥後）

●SK抜き目地の場合



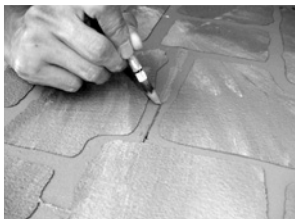
●パターン目地の場合



上塗材を塗付し、夏期3時間、冬期24時間以上乾燥させた後に、目地材を除去します。バリが出た場合はカッターなどを使用して除去してください。除去後はほうきやブロワなどで清掃してください。

※目地材の除去にはラジオペンチを用いると作業し易くなります。

⑥ 目地部の補修



着色下地材

●上塗材が入り込んだ箇所や下書きが残った場合は着色下地材で補修します。面相筆など細い筆を使用すると美しく仕上がります。

⑦ トップコートの塗布（乾燥時間：夏期2時間以上、冬期12時間以上）



●上塗材乾燥後、または目地材除去後（目地補修した場合は、補修箇所が乾燥後）、「トップコート」をウールローラーや刷毛を用いて塗り広げます。

塗布量は100g/㎡です。1袋（600g）で6㎡を目安に塗布してください。

※作業はできるだけ短時間でいきます。

※生乾きの状態で塗膜をこすらないでください。塗膜が黒く汚れることがあります。

※車の乗り入れには、一昼夜以上の養生を必要とします。

ラ克蘭施工ポイント

■適応下地：コンクリート・セメントモルタル（金鍍仕上げ）

1 表面の汚れや粉分を除去

- ☞ 接着不良を防ぎます。ほうきやワイヤーブラシ、ポリッシャー、ブロワーなどで下地表面を掃除します。※清掃が不十分な場合はハガレを生じることがあります。

2 プライマーは丁寧に規定量を塗布

- ☞ セメントモルタル下地にしみ込むように規定量を塗布します。

3 広い面への施工は目地割りを

- ☞ 少なくとも1辺が1m以下になるように目地割りを行います。

4 目地材は着色下地材が完全乾燥してから貼る

- ☞ 乾燥が十分でないとき接着不良になったり、目地材を剥がすときに、着色下地材と一緒に剥がれることもあります。

5 目地材は下地にしっかり圧着

- ☞ 上塗りのときに目地材が剥がれたり、目地材の下に上塗材が入り込み目地が潰れます。目地が潰れたときは、着色下地材で補修してください。

6 目地材の交差部の重ね貼りは厳禁

- ☞ 上塗りのときに目地材が剥がれたり、目地材の下に上塗材が入り込み目地が潰れます。



7 炎天下での施工は避ける

（夏期は日陰養生をするか、気温の低い朝夕に施工を！）

- ☞ 炎天下では、表面乾燥が早くなります。
- ☞ 急激な乾燥は仕上がりが不良の原因になります。

8 施工後、乾燥まで気温が5℃以下になる場合の施工は避けます。

- ☞ 地面はもっと低温になっており、乾燥硬化しません。
- ☞ 気温5℃～10℃で、乾燥硬化に2～3日かかります。

9 ムラなく薄く塗り付け

塗り厚を一定に（1回目 0.4～0.5mm、2回目 0.5～0.7mm）

- ☞ 塗り厚が不均一だと仕上げ作業が難しくなり、美しく仕上がらない場合もあります。
- ☞ 厚塗りは冬期の硬化不良や割れの原因となります。

10 すばやく仕上げる

- ☞ 夏期炎天下は乾燥が早くなるので、上塗り塗布後はできるだけ早く仕上げを行ってください。

11 押さえ作業時は、工具を頻繁に洗い、水を良く切る

- ☞ 押さえ作業を行うと、工具に塗材が付着してきますが、頻繁に水洗いし塗材を除去してください。水洗い後は、しっかりと水を切ります。塗面に水溜りが残ると色ムラになることがあります。

12 上塗りが完全乾燥後トップコートを塗布

- ☞ 作業はできるだけ短時間で、生乾きの塗膜をこすらないでください。

施工手順

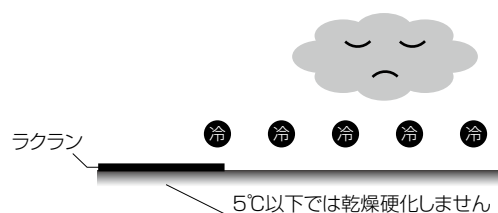
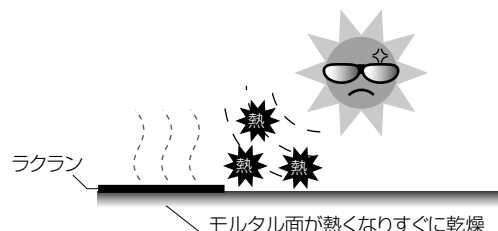
- 下地の確認、清掃
- ▼
- プライマー塗布
- ▼
- 乾 燥
- ▼

- 目地有りの場合
- 着色下地材の塗布
 - ▼
 - 乾 燥
 - ▼
 - 目地材を貼る

- 上塗材の塗布
- ▼
- 乾 燥
- ▼

- 目地有りの場合
- 目地材を剥がす

- ▼
- トップコートの塗布
- ▼
- 完 成



施工上の注意

- 屋外施工では天候に十分注意し、降雨、強風時の施工は避けてください。
- 気温10℃以上での施工を標準とします。
- 施工後、乾燥までに、気温5℃以下になる場合の施工は避けてください。
- 冬期、床面温度は、気温よりもかなり低くなります。気温5℃以下の乾燥では舗装材としての十分な強度が得られないことがあります。凍結した場合には、剥離の恐れがあります。
- 夏期炎天下での施工は、表面乾燥が促進されるため、日陰養生するか、気温の低い日陰からか、早朝、夕方などに施工してください。夏期の床面温度は50℃以上になり、乾燥が早く作業に支障がでます。
- 樹脂が乾燥するまでは臭気がします。室内での施工の場合は、特に換気に注意してください。
- 乾燥するまでは、絶対に水に濡らさないでください。
(必要に応じ、シートなどで雨養生してください。)
- 材料は直射日光、雨水のあたらない一定の場所を定めて保管してください。
- 骨材は天然素材のため、ロットにより多少色調の異なる場合があります。
- 塗り継ぎは塗り付けた塗材が乾燥しないうちに行ってください。連続作業ができない場合は、あらかじめ目地を入れておいてください。
- 使用期限は製造年月日から3年間です。

取扱上の注意



安全に関するご注意

製品の特性を十分にご理解いただき、正しくかつ安全にご使用いただくために、次の事項につきまして、ご注意願います。

〈取扱上の注意〉

- 作業中は目、皮膚への接触を防止するため、状況に応じて保護眼鏡、保護マスク、保護手袋を着用してください。
- 目に入った場合には、多量の水で洗い、医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛みまたは、外観に変化がある時は、医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、ただちに医師の診断を受けてください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 施工時には換気を行ってください。
- 作業後は手を洗い、うがいをしてください。汚れた作業服は洗濯してください。
- 容器は密封し、直射日光を避け、換気のよい冷暗所に保管してください。また、冬期には凍結しないように注意してください。
- 空容器の処理は、可燃物・不燃物に仕分けして産業廃棄物業者に依頼してください。残さ・残液(ボンドなど)は下水・河川・池・井戸・地下水などを汚染する恐れがある場所には廃棄しないでください。
- 指定された以外の材料と混合しないでください。
- より詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

〈おことわり〉

- 舗装面に強く触れると肌を傷つけることがありますので、注意してください。
- 天然の土、砂を使用していますので、ロットにより多少の色違いを生じることがあります。
- 天然の色土や顔料を使用していますので、わずかに退色することがあります。
- 土埃などで汚れが付着した場合は、中性洗剤を用いてブラシ等で洗浄した後、水で洗い流してください。
- コケ、カビなどの除去は市販のカビ取り剤等の塩素系殺菌剤で死滅させた後、水で洗い流してください。

ご不明な点がございましたら、詳細は包材の裏面に記載してありますので、ご覧ください。



四国化成工業株式会社